

みどりの杜俳句会

椎茸のもどし汁入れけんちん作り

佐山けさ子

手作り野菜刻みけんちん汁作る

高橋 きみ

からす瓜枝より枝へ下りけり

落合 七郎

もみぢ晴れグランドゴルフ二周せり

安田 久子

晩秋の山よりの風首すくめ

西 ツル

杜入口もみぢ紫がかり散る

河西カナメ

からす瓜指にさはれば凹みけり

飯野 トヨ

秋祭りひよつとこ三角餅撒けり

馬場 芳

風強し古マフラーを二巻きす

吉田 愛子

山の柚子まばゆき程に熟れにけり

梅沢きくえ

駅通りはな水木みな濃き紅葉

田村 好子

坂登る園児ら元気みかん狩り

高橋 ツ子

安納芋掘るや特大持ちきれず

鈴木 啓子

小座布団編みかぎ針の落ち易し

飯野はつ志

丹精のくじやくサポテン真つ白よ

山崎 才子

みかん畑日毎色づき枝しなふ

野口利江子

霜除けの笹かぶせけり青菜畑

小宮 勉

竹林に霜の真白し夜祭り来

岩崎 真人

銀杏の落つるままなり遺跡杜

土屋 厚子

大鍋に最後のいちぢくジャムとせり

岡部富美子

道脇の無人販売柚子並ぶ

初雁 功子

山畑の土手穂芒のみな傾ぐ

関口 侑子

山道に沿ひて野菊の途切れなし

千野さき子

風通る軒に二段や柿吊す

山田 美子

白石短歌会

台風で一夜にて変る風景に

ある種の予感強く打ち消す

渡邊美枝子

辛き事悲しき事も乗り越へて

坂本 美江

良き年信じて迎へむと思ふ

八人の孫の二番目の吉報は

外国ハワイからのスマホの映像

白石 礼子

良き村に満足しつ、はや米寿

世界の平和願いつ余生

渡邊阿里子



人権シリーズ

『人権尊重社会の実現に向けて』

埼玉県では、人権尊重社会の実現を図るため、「すべての人がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会を実現すること」を基本理念とした埼玉県人権施策推進指針を定め、その中で、次の三つが共に実現した社会を人権尊重社会といっています。

- 1 一人一人が個人として尊重される社会
人権とは、すべての人間が生まれながらにしてもっている権利で、人間が人間らしく生きていくための、誰からも侵されることのない基本的な権利です。一人一人が尊厳をもったかけがえのない存在として尊重される社会。
- 2 機会の平等が保証され、一人一人の個性や能力が発揮できる社会。
すべての人は平等であって、性別、年齢、障害の有無、社会的身分、門地、民族等によって差別されず、それぞれ一人一人の個性や能力を十分に発揮する機会が保証され、誰もが生きがいをもって暮らせる社会。
- 3 一人一人の多様性を認め合い、共に生きる社会
すべての人がそれぞれの文化や価値観を尊重し、それぞれの人格や個性を認め合い、安心して共に暮らすことができる社会。

社会では、いじめや児童虐待、高齢者など社会的弱者に対する虐待、女性に対する暴力など、様々な人権問題が後を絶ちません。決して他人事ではなく、誰もが加害者にも被害者にもなりうるものです。

まずは実際に社会の中で様々な人権問題が生じていることに気づくこと。そして、一番大事なのは相手の気持ちに寄り添い、理解していくことではないかと思えます。

東秩父村副村長 大島 健治